

2020年3月期

# 第3四半期決算説明会

アステリア株式会社（東証一部:3853）

2020年2月14日



3853

# 最新情報

# 炭素新素材グラフェン開発企業に出資

開発センター

Helsinki

- ✓ Imagine Intelligent Material社
- ✓ 炭素新素材グラフェンのセンサーとしての研究開発および製造
- ✓ 出資：50万ドル（追加出資権利も持つ）

imagine  
INTELLIGENT MATERIALS

本社

Melbourne



創業者：Chris Gilbey & Phil Aitchison



# 炭素新素材グラフェンとは

世の中で最も薄い素材 = 炭素原子 1 個の薄さ

超強度：鋼鉄の約100倍

超導電性、熱伝導性

2004年に発見、2010年にノーベル賞

# 炭素新素材グラフェンの用途



透明導電性フィルム



高性能蓄電・発電



ICの高速・省電化



医療検査機器



宇宙空間素材



センサー建材

# グラフェン表面センサーの特長

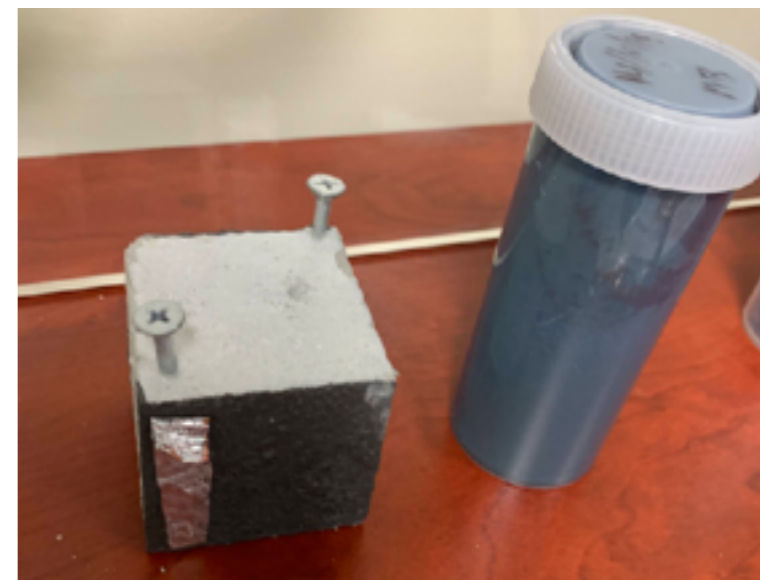
imagine  
INTELLIGENT MATERIALS



繊維  
タイプ

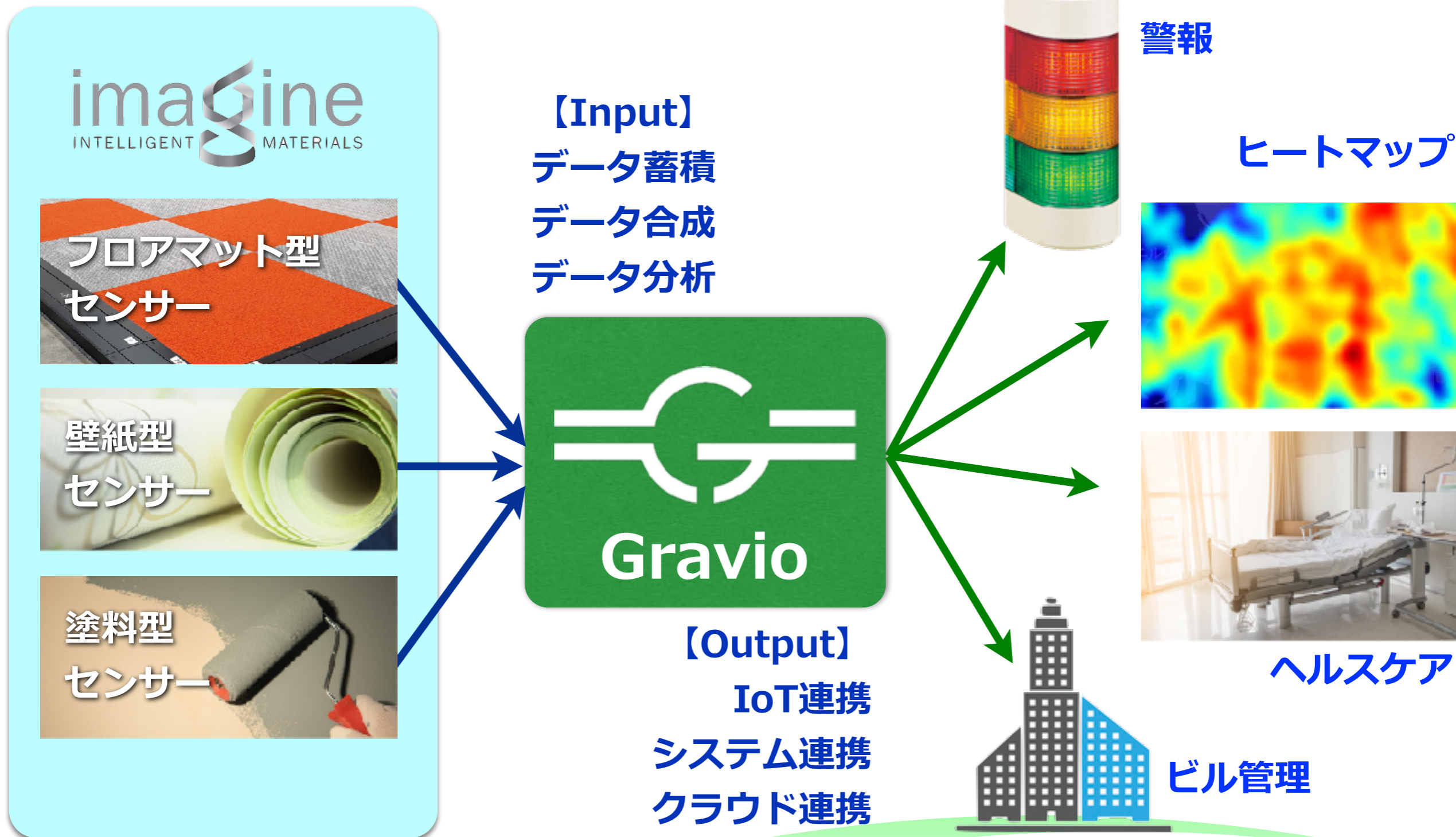


塗料  
タイプ



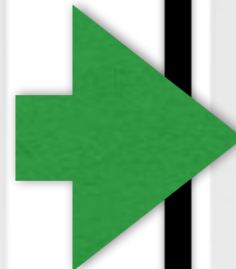
グラファイトから  
グラフェンを製造

# 業務提携：Gravioとの連携

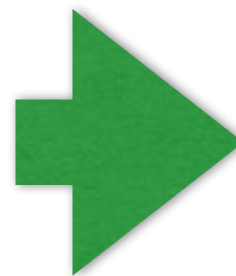


# Gravio + グラフエンの可能性

例えば…



洗面台にグラフエン  
塗料の層を作る



頻繁接触場所（危険箇所）  
を可視化



2020年3月期  
第3四半期決算概要

(国際会計基準 = IFRS)

# 会社概要

2019年12月31日現在

- ✓ 市場 東証一部上場 (3853)
- ✓ 設立 1998年9月
- ✓ 事業 「つなぐ」ソフトウェアの開発・販売とDXを実現する戦略デザインコンサルティング

英国

London

中国

Hangzhou  
Shanghai  
Hong Kong

日本

Tokyo  
Osaka

Seattle, WA

米国

Plano, TX

シンガポール

Singapore



代表取締役  
執行役員社長/CEO  
平野 洋一郎

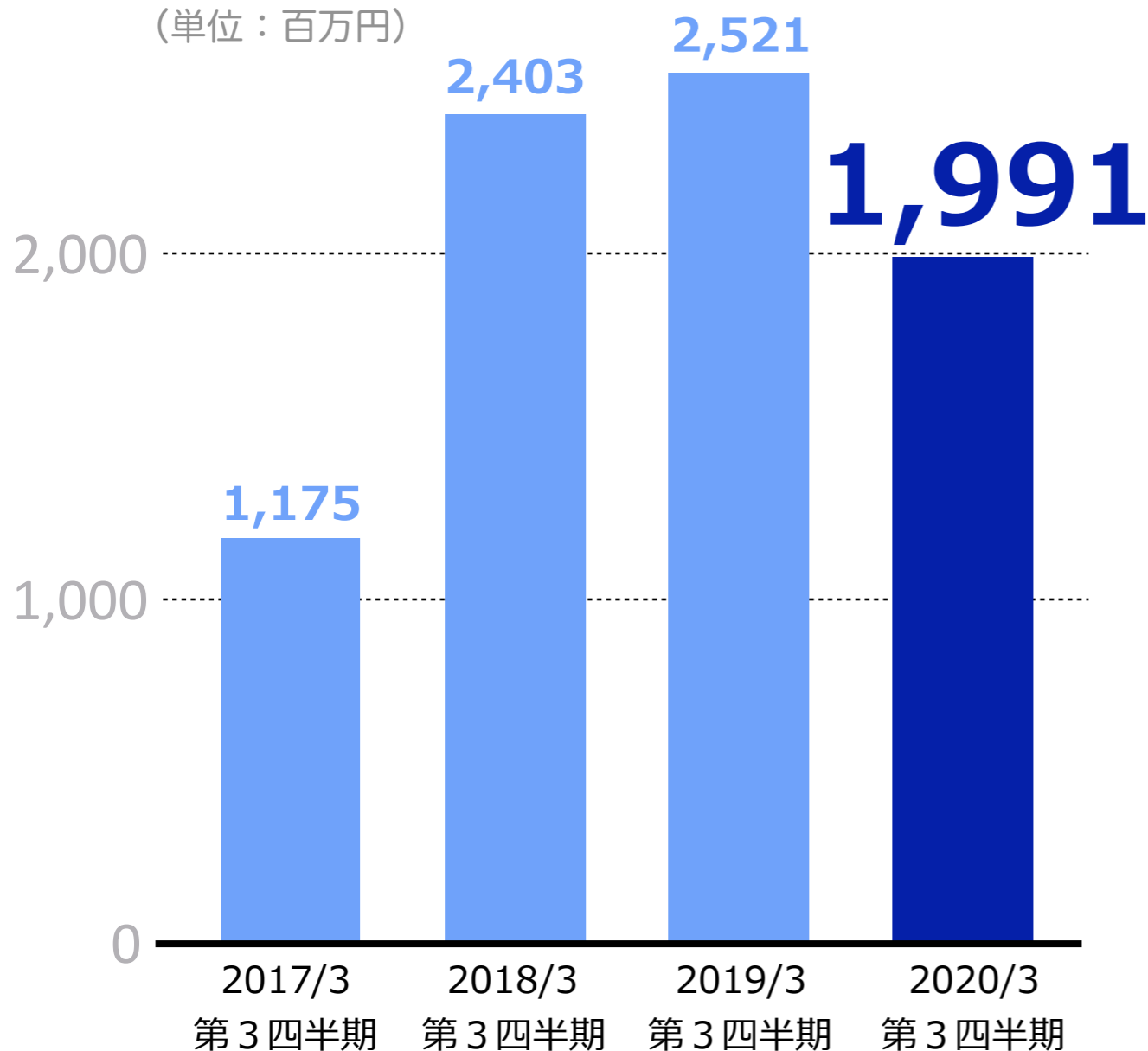
- ✓ 資本金 22億7,534万円
- ✓ 従業員数 121名 (連結)

# 減収減益

- ✓ 売上収益 : 前期比 **21.1%減**
  - ✓ 営業利益 : 前期比 **75.2%減**
  - ✓ 当期利益 : 前期比 **118百万円減**
- (親会社の所有者に帰属する)

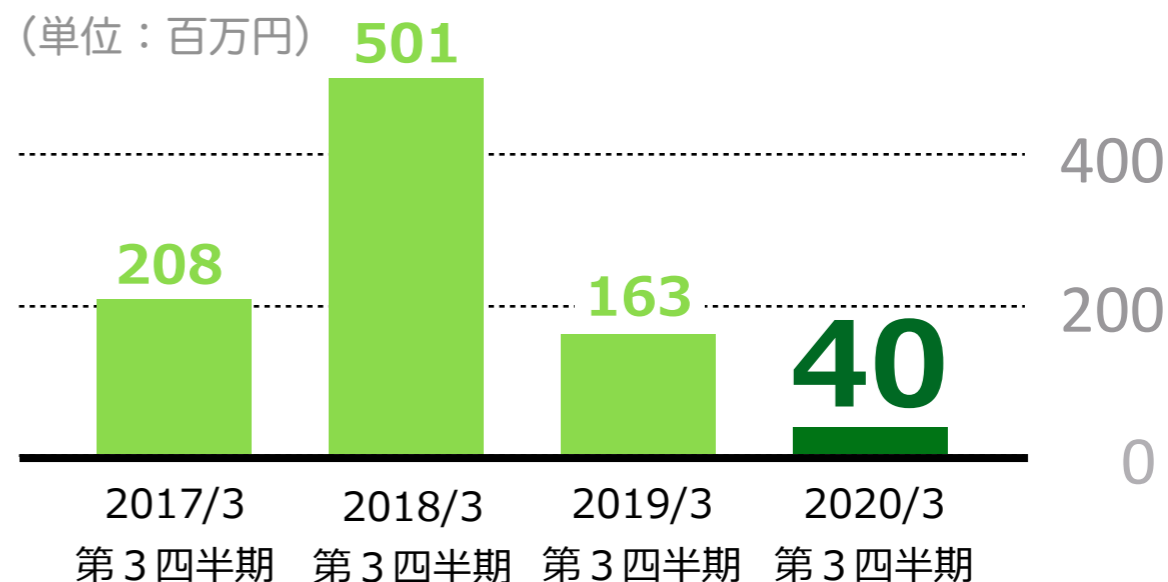
## 売上収益推移

(単位：百万円)



## 営業利益推移

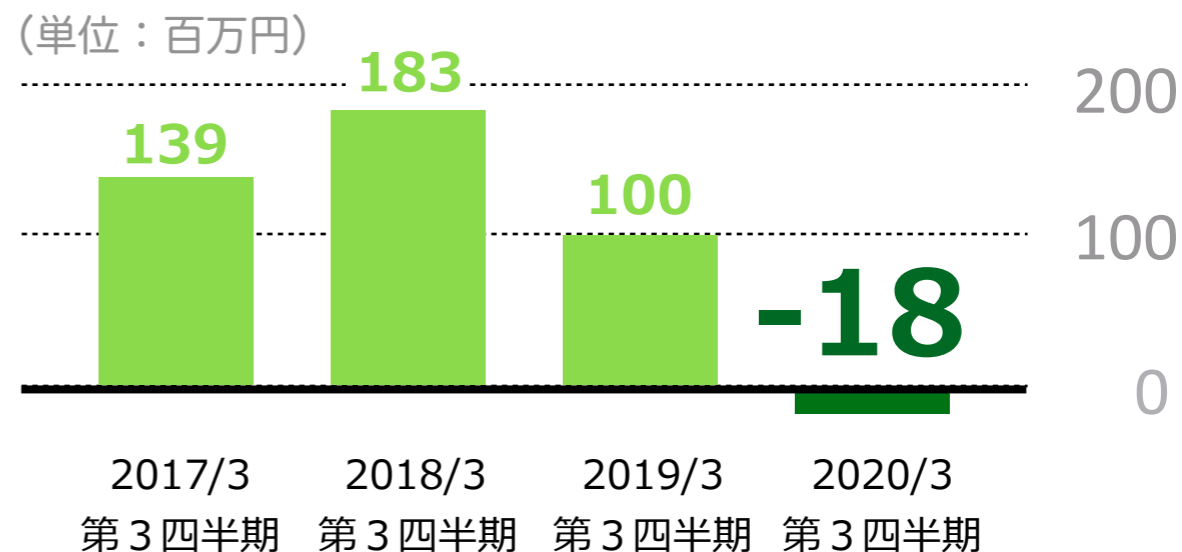
(単位：百万円)



## 当期利益推移

(親会社の所有者に帰属する)

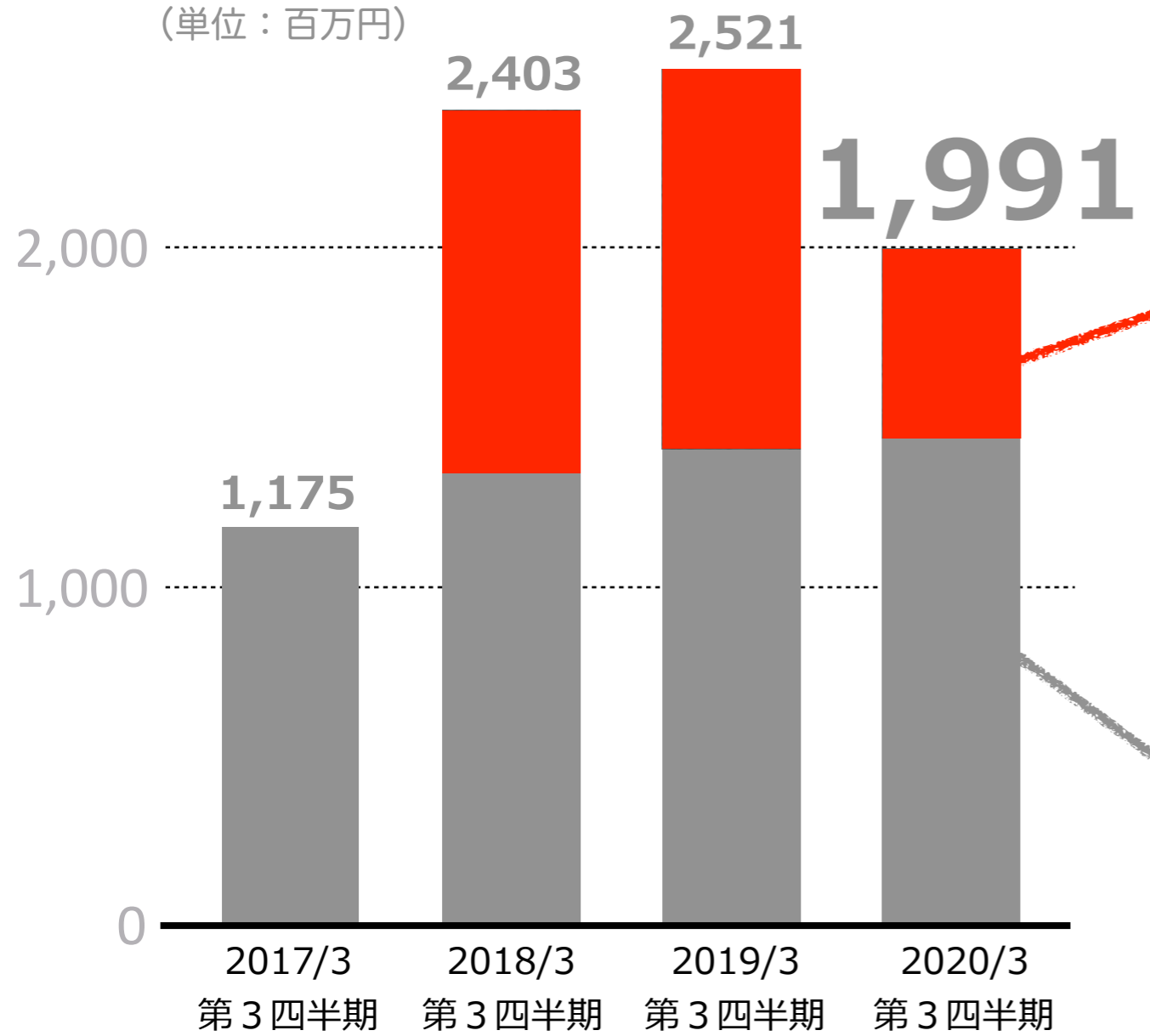
(単位：百万円)



# 減収要因

## 売上収益推移

(単位：百万円)



### ① デザインサービス

が減少 **前期比 49.5%**

・米国の重要顧客 2 社に関してプロジェクトが引き続き遅延。

### ② エンタープライズ、ネットサービスの増加分でもカバーできず

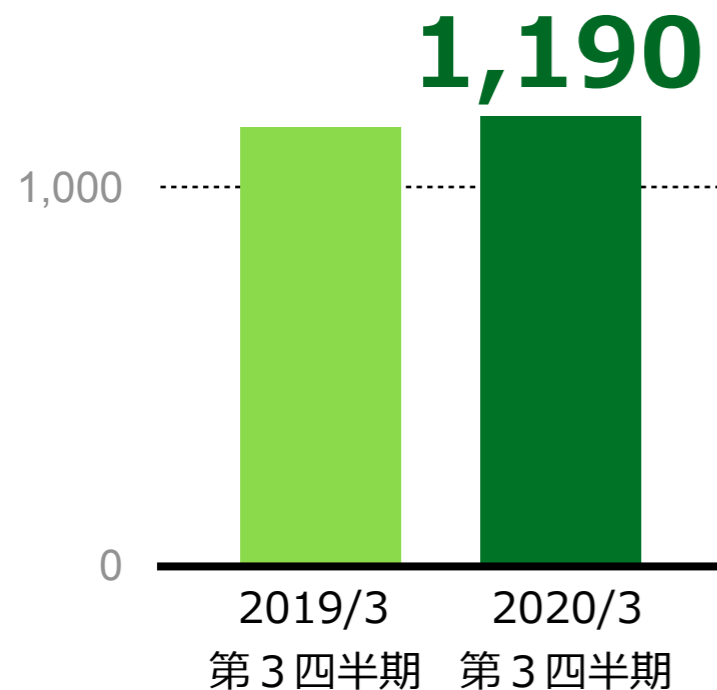
エンタープライズ：前期比 **102.8%**  
 ネットサービス：前期比 **107.1%**

# ビジネスユニット別売上収益推移

## エンタープライズ

前期比 **102.8%**

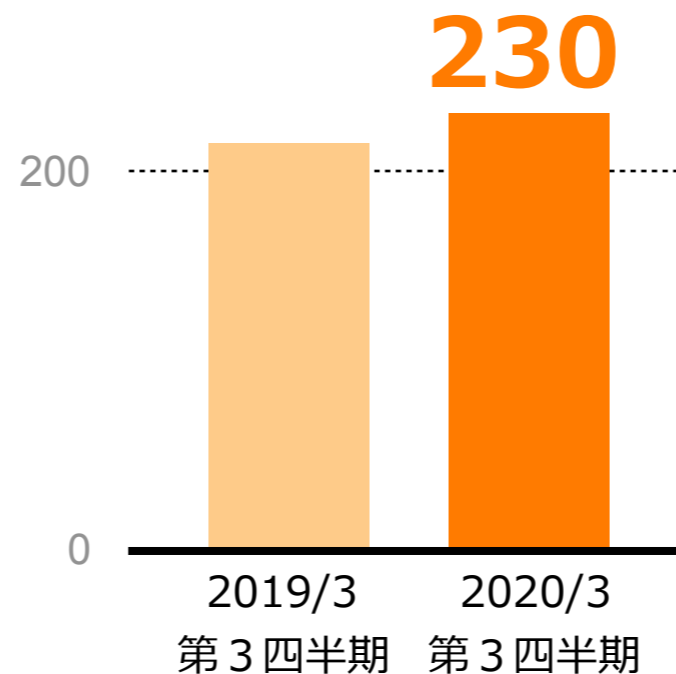
- ✓引き続き業務自動化の意欲が高い
- ✓Coreが好調に推移



## ネットサービス

前期比 **107.1%**

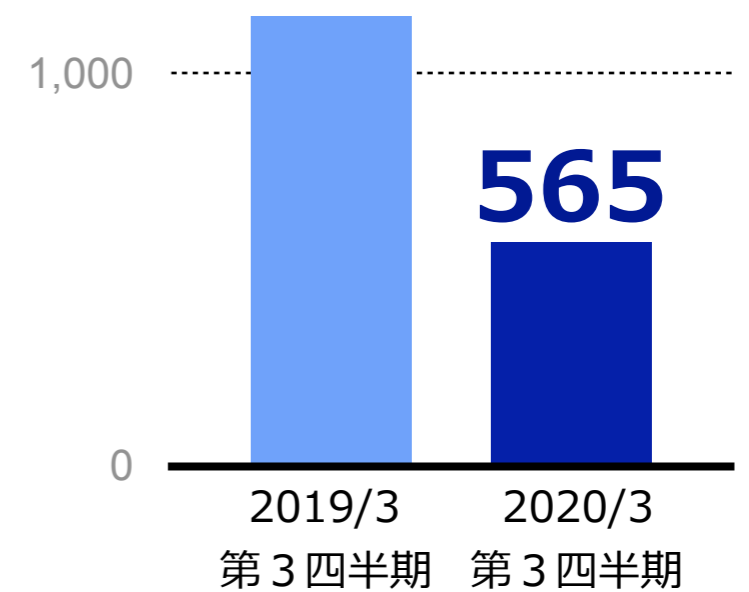
- ✓サブスク型が奏功し着実に販売が増加
- ✓事例も順調に増加



## デザインサービス

前期比 **49.5%**

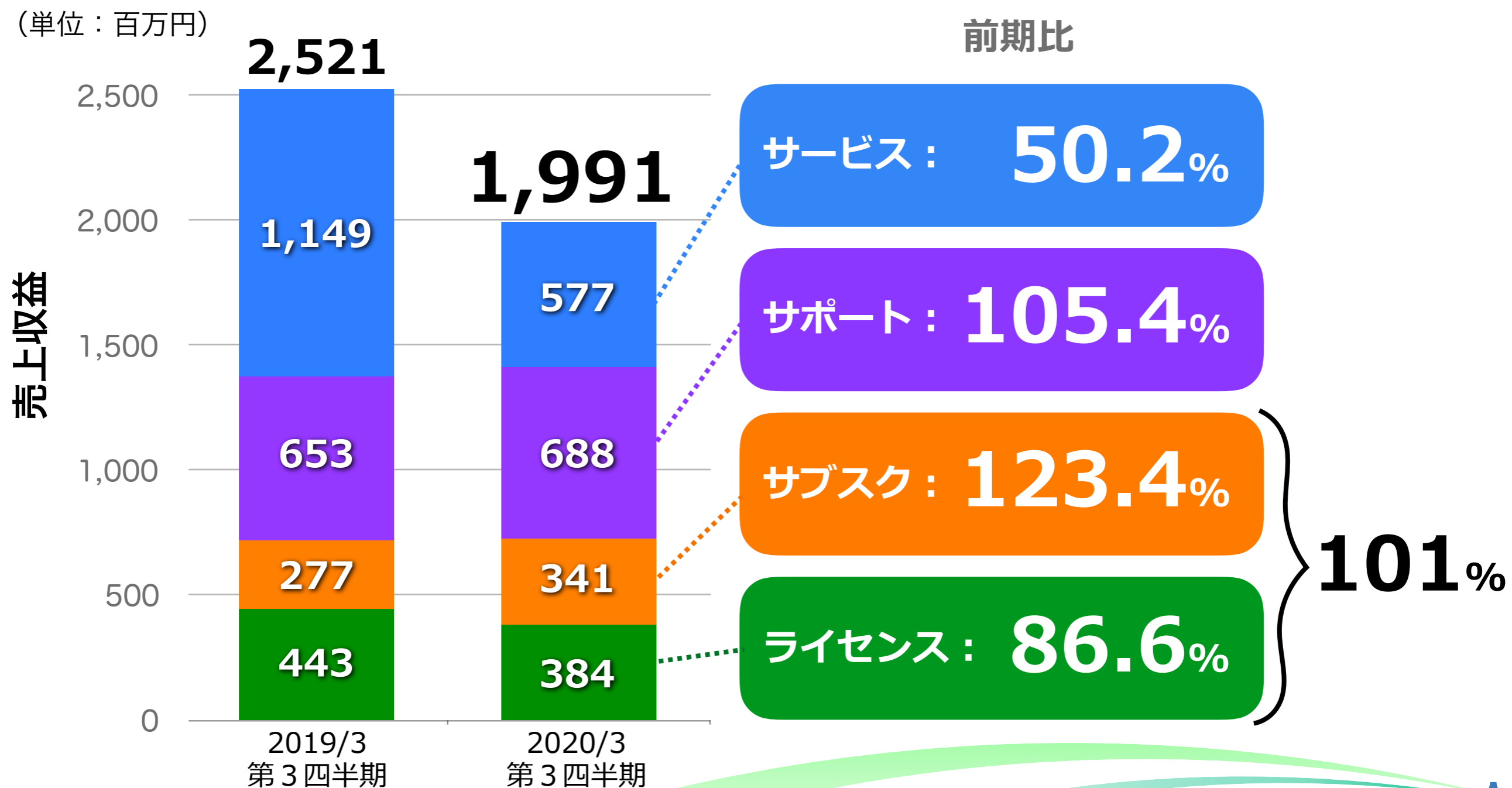
- ✓新規顧客を獲得
- ✓重要顧客2社の経営環境の影響を受け大幅な減収



■ 主要3ビジネスユニット合計の全売上収益に占める割合は99.8%

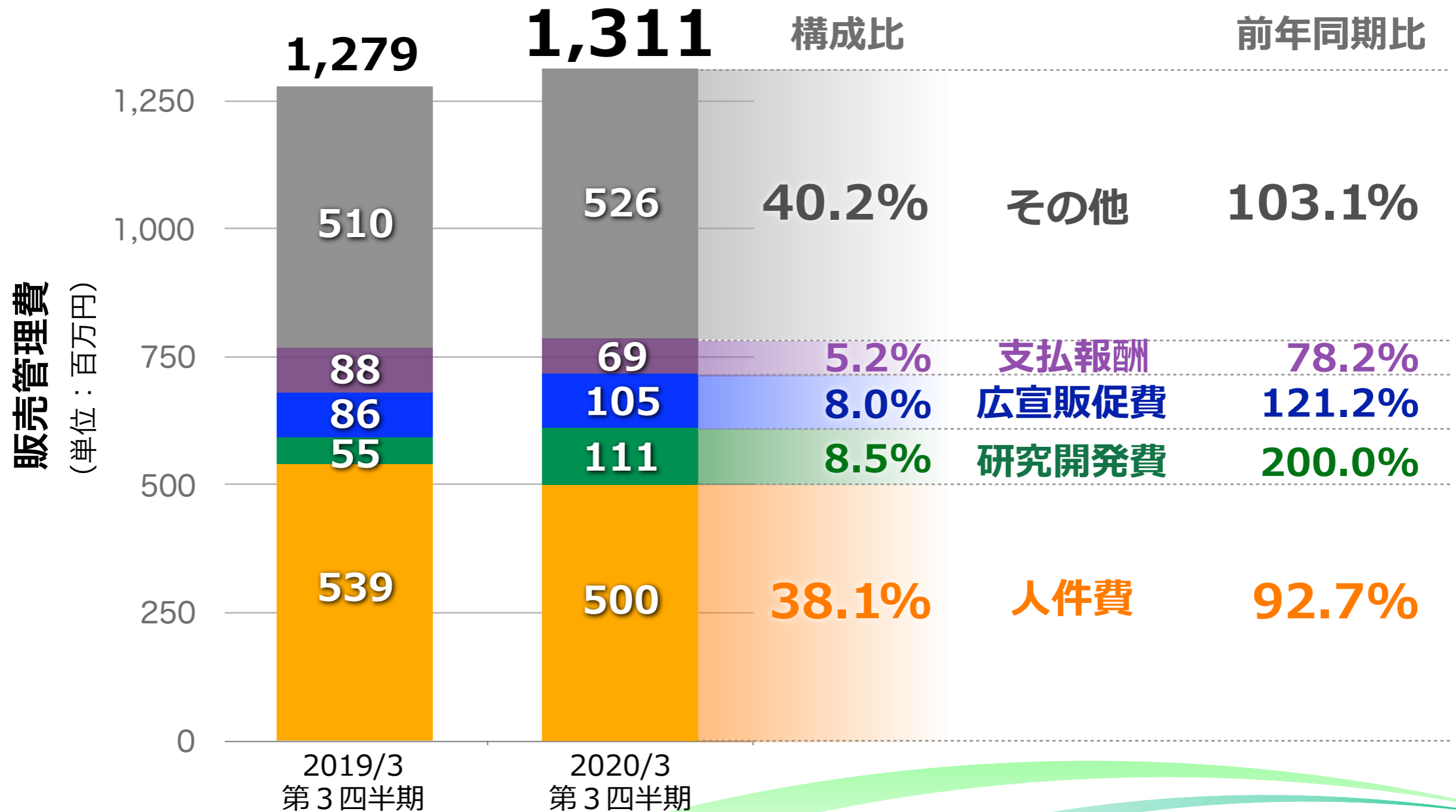
# 売上区分（タイプ）別売上収益推移

- 「サービス」はデザインサービスの落ち込みで一時的に大幅減。
- 「ライセンス」からの移行が進み「サブスク」2桁増。



# 販売管理費の推移と内訳

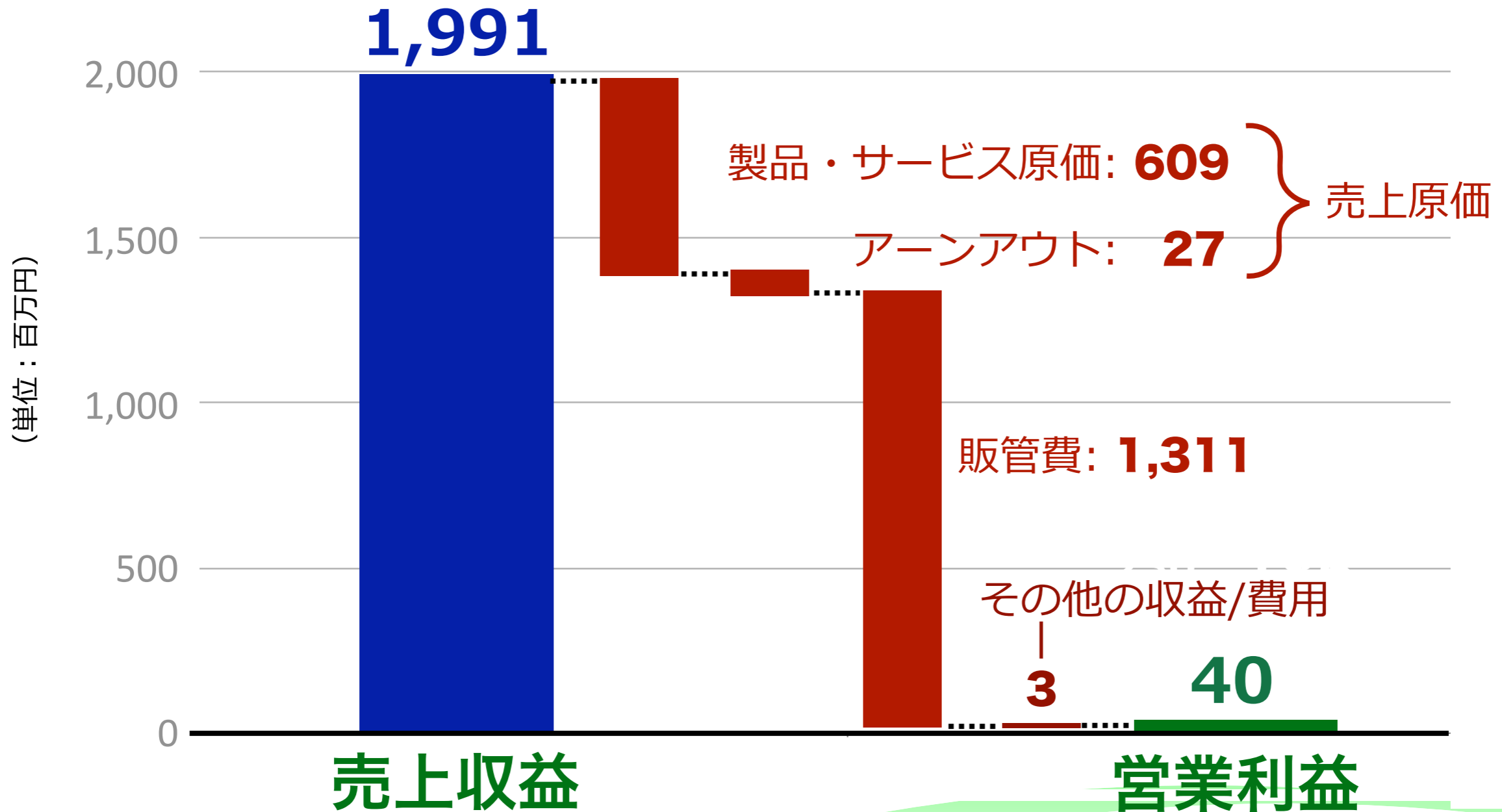
- 新製品の出荷に伴い広宣販促費と研究開発費が増加。
- デザインサービスの減収に伴い人件費を抑制。



# 売上収益から営業利益までの内訳

- デザインサービスの減収により、前期比で売上収益は減少。
- 売上原価を圧縮するも営業利益は前期比で減少。

2020年3月期 第3四半期



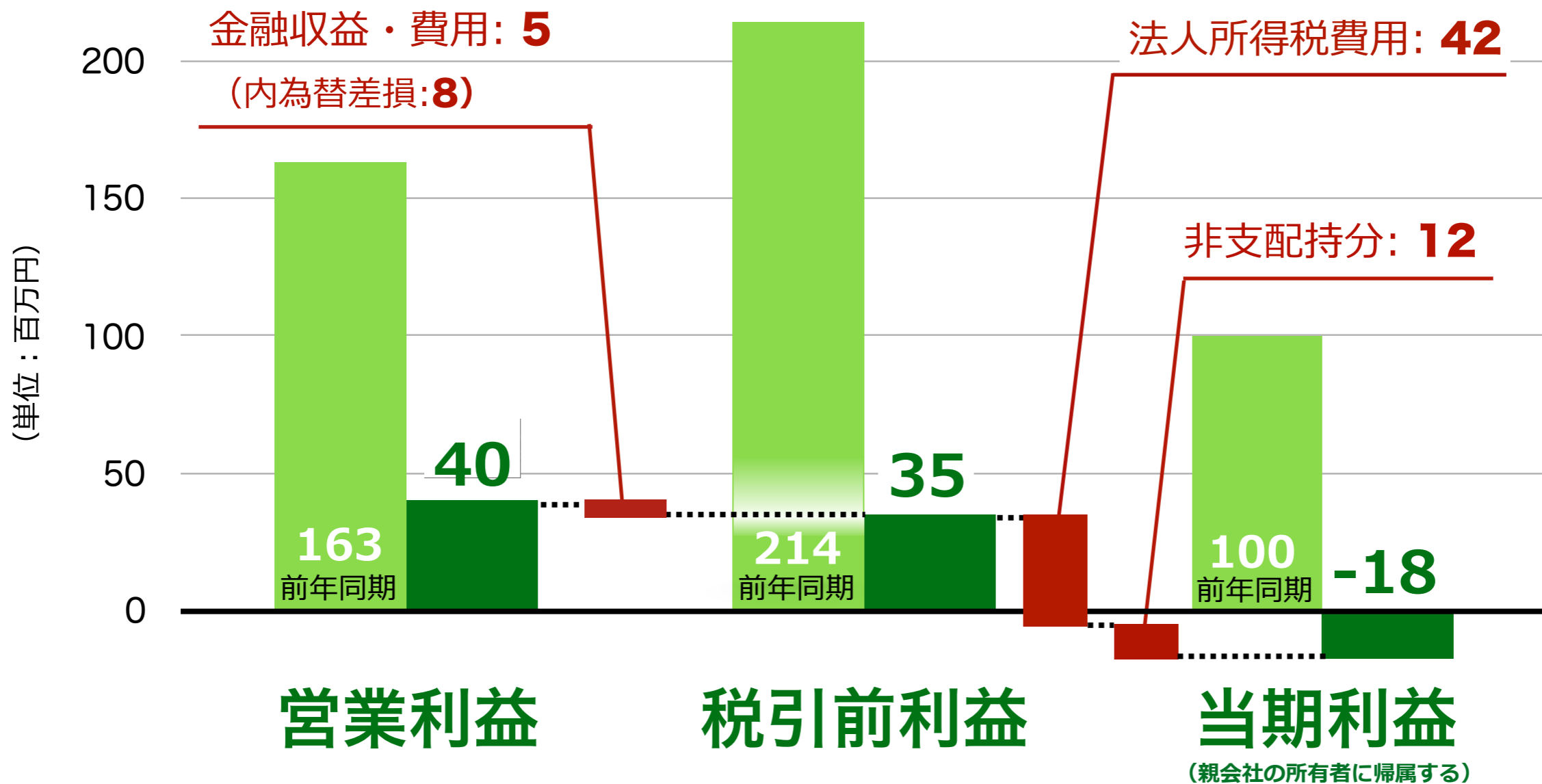


# 営業利益/税引前利益/当期利益

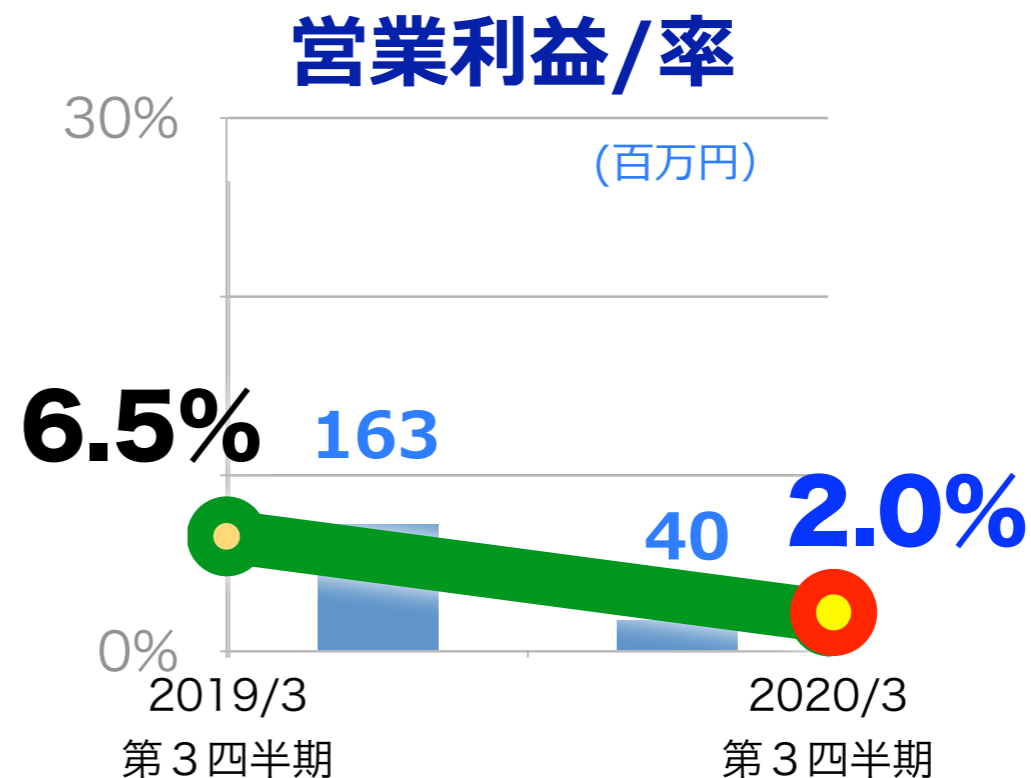
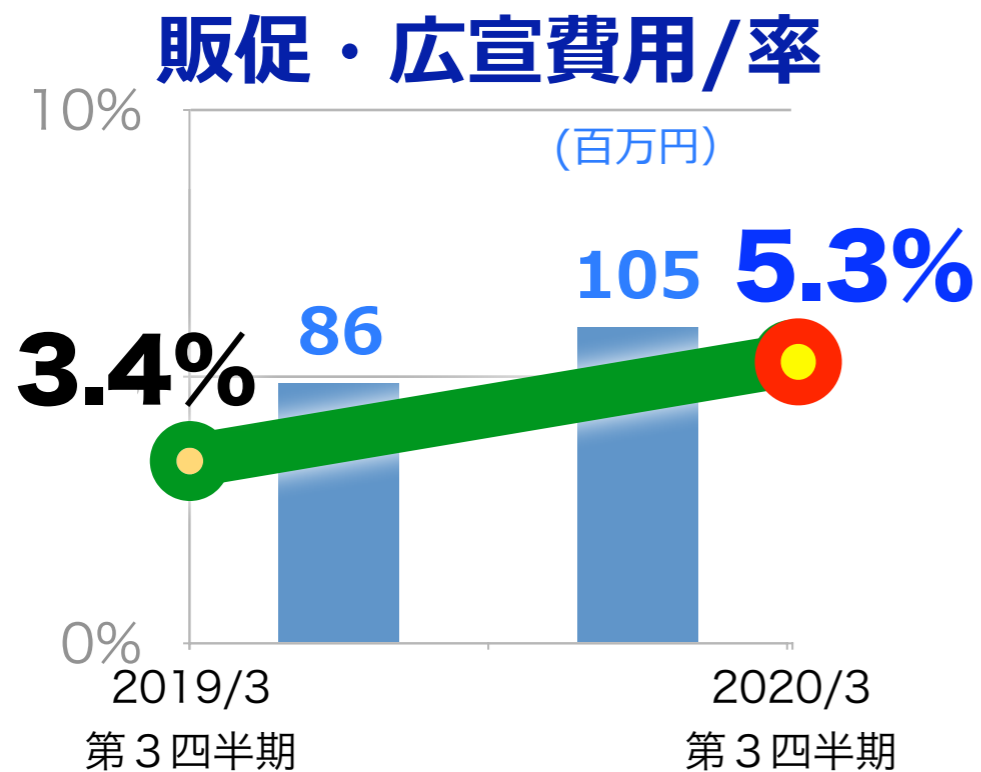
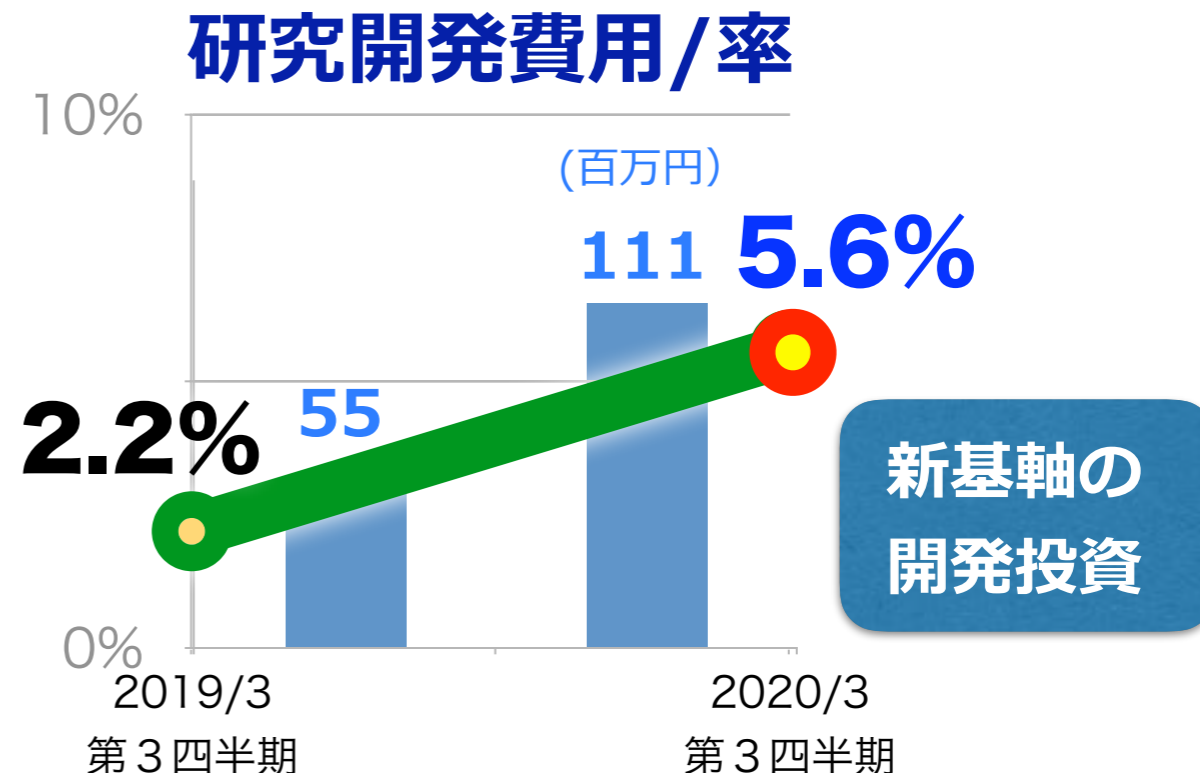
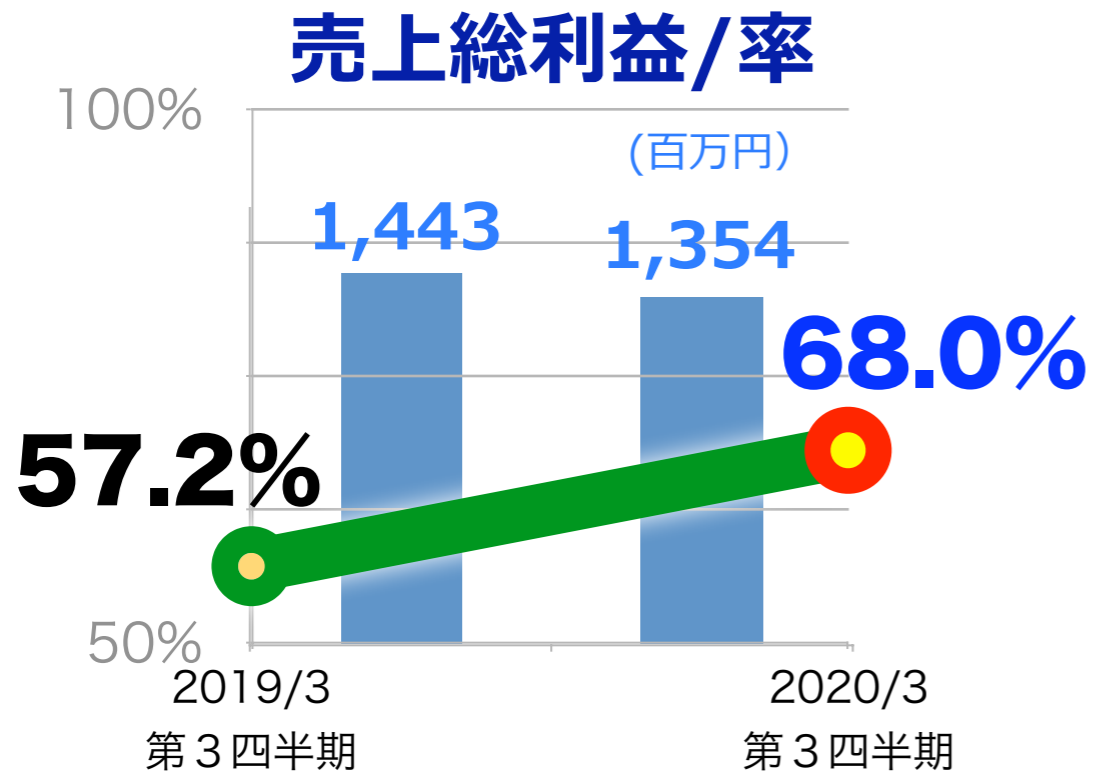
(親会社の所有者に帰属する)

■ 営業利益以下については特記事項なし。

2020年3月期 第3四半期



# 経営指標の推移 (前年同期比)



# 財政状態計算書

		2019年 3月31日	2019年 12月31日	増減
資産 の 部	現預金等	3,277	2,611	▲666
	営業債権	709	330	▲380
	その他流動資産	123	91	▲33
	有形固定資産	191	1,343	1,152
	のれん	1,347	1,333	▲14
	無形資産	144	92	▲52
	投資等その他	1,325	3,172	1,847
	資産合計	7,117	8,971	1,855
負債 の 部	借入金	100	243	143
	営業債務	92	156	64
	未払法人所得税等	152	3	▲149
	その他流動負債	749	875	126
	長期借入金	-	822	822
	その他非流動負債	634	1,529	895
負債合計	1,727	3,627	1,899	
資本 の 部	株主資本	5,381	5,154	▲227
	その他資本の構成要素	0	28	28
	非支配持分	8	163	155
	純資産合計	5,389	5,345	▲45

(単位：百万円)

## ■ 現預金等

**2,611** 百万円

→借入金を含む約13億円の  
Gorilla社への投資により  
現預金等が減少

## ■ 自己資本比率

**57.8%**

→借入による積極的な  
投資の実施により  
自己資本比率は低下

# キャッシュ・フロー計算書

- 投資キャッシュフローのマイナスは**Gorilla社への投資**によるもの。
- 今後の戦略的投資に向けて**25億円超**の現預金等を有する。

(単位：百万円)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	▲187	403
投資活動による キャッシュ・フロー	▲377	▲1,854
財務活動による キャッシュ・フロー	▲460	799
現金及び現金同等物の 期末残高	3,256	2,611



# 2020年3月期 第3四半期 決算説明会

お問い合わせは：03-5718-1655



LINEによるIRニュース

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード：3853)